

## 「プラスチック製容器包装分別処理事業に伴う費用調査」資料への回答について

## 1. プラスチック製容器包装収集実績 (再掲 ※一部修正)

単位：t

	H20	H27	H28	H29	H30	R1
収集量	?	224	220	216	220	216
容リ協引渡	293	179	169	155	151	143
残渣量	?	45	51	61	69	73

## 2. 費用調査 (再掲)

(t/y)	H20	H27	H28	H29	H30	R1
合計 (千円)	22,632	30,895	30,167	28,474	28,652	28,804
処理量原単位 (千円/t)	75.4	172.6	178.5	183.7	189.7	201.4

単位：千円

委託費計		30,347	29,333	28,000	28,240	28,399
収集委託		9,671	9,478	9,000	8,946	9,045
処理委託	21,025	19,875	19,114	18,226	18,360	18,530
残渣運搬委託		710	659	699	854	752
再商品化委託	901	91	82	75	80	72
その他経費	706	548	834	474	412	405

## 3. 内容整理

①	処理原単位	H20 : 75.4 千円/t ⇒ R1 : 201.4 千円/t	※約 2.7 倍
②	処 理 量	H20 : 293 t/年 ⇒ R1 : 143 t/年	※約半減
③	発 生 残 渣	H27 : 45 t/年 ⇒ R1 : 73 t/年	※約 1.6 倍

## 4. 指摘等

指摘等	回答
① H20 以降の処理費増の要因調査が必要 ② 残渣低減に向けた対応策の推進	<p><b>1. 処理費増につながった事項</b></p> <p><b>H19 年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・容リ協の引き取り品質ガイドラインの変更</li> <li>・全収集袋の破袋 (内袋含む) 義務、市町村指定袋等の除去 (異物扱い) が項目追加</li> </ul> <p><b>H20 年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金拠出制度開始</li> <li>・品質検査の厳格化 (年 1 回の立入検査)</li> </ul> <p><b>H23 年度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質検査手法等の厳格化。恒常的に引取事業者側への立入検査を開始。</li> <li>・23 年度立入検査で、<u>2 項目 (「破袋度」、「禁忌品」)</u> の改善指摘を受けた。</li> <li>・改善がない場合、引き取り停止措置もあり得、早急な対応が必要となった。</li> </ul>

	<p><b>2. 実施した主な改善策</b></p> <p>(1) 市民啓発 ・広報紙、HP、回覧板（全戸 H23.9）を活用</p> <p>(2) 異物除去（収集運搬） ・収集袋への啓発シール添付</p> <p>(3) 異物除去（中間処理） ・梱包機投入時の目視及び触手での確認強化 ・破袋、選別台の設置 ・処理日数変更</p> <p><b>3. 費用増の理由</b></p> <p>・容リ協の求める品質確保（異物除去）のため、受託事業者は人工増と作業時間増で対応せざるを得なかった。</p> <p>・受託事業者において、H23 年度から 26 年度頃にかけて、継続的に品質改善への対応を行い、この期間に委託料が逡増した。</p> <p>・容リ協による品質の厳格化が主な要因であり、今後とも残渣の急激な改善を見込むことは難しい。</p>
--	---